

3 事業・取組の実績と評価

(1) 評価の考え方（5か年の事業・取組の評価）

平成 26 年度から平成 30 年度までの取組をふりかえり、5か年の事業・取組の実績・内容について、以下の方法により評価しました。

なお、評価にあたっては、横浜みどりアップ計画市民推進会議からの意見も参考にしています。（市民推進会議による5か年の評価・提案の概要は P4-5 参照）

ア 進捗状況の評価

全 29 の取組ごとの、5か年の目標および計画事業費に対する5か年の進捗および執行率を、次の評価基準により評価しました。

〔進捗状況についての評価基準〕

◎:100%以上

○:70%以上~100%未満

△:70%未満

イ 5か年の総合評価

アに加えて緑の総量の維持、緑の質の向上や緑と関わる機会の増加など、計画全体としての5か年の目標に対する貢献も含めて、各事業・取組の成果を総合的に評価しました。

〔5か年の総合評価〕

A:計画を上回る成果

B:概ね計画通りの成果

C:計画を下回る成果



5か年の目標（再掲）

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

緑地保全制度の指定による樹林地の担保量が増加、水田の保全面積が増加、市街地で緑を創出する取組が進展 など

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

森の保全管理など生物多様性に配慮した取組の進展、緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など

3 市民と緑とのかかわりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

森に関わるイベントや農作物収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など